

平成28年度 基本評価調書

施策名	食関連産業の振興	所管部局	経済部	作成責任者	経済部食産業振興監 小野塚修一	施策コード	05	01
		照会先	食関連産業室食品産業G (内線26-816)	関係課	経済部食関連産業室			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)	総合計画の指標	
			2 経済・産業	(2)本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造	高い付加価値を生み出すものづくり産業の振興	製造業の付加価値生産性
		2 経済・産業	(2)本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造	地域資源を活かした食関連産業の振興	食品工業の付加価値額	
	北海道創生総合戦略	A3211,A3214,A3215,A3216,A3217,A3221,A3411,A3841,A3961	北海道強靱化計画	B 4 2 2 1	新・北海道ビジョン	C00104,C00303,C00308,C00503,C00907,C00908,C01202,C02202,C02204,C02702,C03102,C05804,C5907,C08905
	特定分野別計画等					

現状と課題	<p>・本道の食品工業は、平成26年の製造品出荷額が22,098億円(全国シェア6.2%)で全国2位であり、製造業全体の33.1%を占め、地域の経済や雇用を支える重要な産業として発展しているが、素材提供型の色合いが強く、付加価値額は5,748億円で全国6位、付加価値率は26.0%で全国の32.1%と比較して6.1ポイント低い。</p> <p>・国内の食市場は、人口減少や高齢化の進行などにより縮小傾向にあるとともに、食品の安全性・環境への関心の高まりや激しい市場競争、地域間競争、TPP協定交渉の合意などにより、その取り巻く環境が大きく変化している。</p> <p>・マーケットニーズ等に対応した製品開発や既存製品の磨き上げなどにより付加価値をより高めていくとともに、国内はもとより、今後、経済発展や人口増加などにより市場拡大が見込まれるアジアを中心とした海外への販路開拓を進める必要がある。</p>	<p>施策目標</p> <p>・産学官金のオール北海道体制による食クラスター活動を中心に、マーケティング力に優れた人材の育成や付加価値の高い商品の発掘・磨き上げなど、北海道ブランドの確立に向けた競争力強化や、国内外に向けた道産食品の販路拡大、機能的食品など今後成長が期待される分野への集中的な展開、フード特区の活用などにより、食の関連産業の集積を図り総合産業群を形成する。</p>
-------	---	---

施策の推進体制 (役割・取組等)	〔道〕 ・地域における企業や団体など関係者との連携体制や推進体制の構築 ・食品業界団体等に関する情報収集、提供等 ・食品製造業を支える人材、マーケティング人材の育成 ・フード特区の取組の推進、特区制度の活用の検討 ・食クラスター連携協議体の運営支援 ・食品加工研究センターや地域食品加工技術センターによる研究開発支援	〔国〕 ・民間や地域の取組のバックアップ 〔民間〕 ・道内事業所向け商談会や首都圏等でのアッパー層向け商品磨き上げ相談会を開催 ・マーケティングや生産管理の専門家による相談会を開催し、磨き上げた商品について展示会に出展	施策の予算額	
			H27	131,147
			H28	131,944
			H29	

今年度の主な取組	<p>食品製造業に従事する非正規雇用者等を対象とする職業訓練や在職者向けの生産管理等の研究を実施し、人材育成を図る。</p> <p>フード特区の活用による食の関連産業の集積を図り総合産業群を形成する。</p> <p>地域における食品加工技術の高度化に向けた研究開発・技術支援を促進する。</p> <p>食クラスター活動を本格展開させるため、道内の関係機関で構成される「食クラスター連携協議体」の運営等を通じて、道産食品の販路拡大や商品開発に向けた支援を行う。</p> <p>北海道農商工連携ファンド等を活用し、農林漁業者と中小企業者等の連携体が行う、北海道の農林水産資源を活用した「食分野」等における新商品・新サービスの取組を支援する。</p>	<p>地域の商品を開発し、首都圏等のアッパー層をターゲットに磨き上げを行う商談会等を開催するほか、新たな地域ブランドを創設するなど、食品製造業の販路拡大及び高付加価値化に取り組む。</p> <p>地域資源を有効活用した食品開発・販売に取り組むマーケティング人材を道内各地で実施するほか、北海道ブランドとして可能性が高い道産ワインの更なる品質向上を図るため、ワイン造りに携わる者に、醸造やマーケティング手法等を習得する機会を設ける。</p> <p>機能的食品やワインとチーズなど、今後成長が期待される分野への集中的な展開を実施する。</p> <p>地域食品加工技術センターの試験研究や技術指導事業などを支援するとともに、望ましい運営のあり方に向け、検討を継続する。</p>
----------	--	---

Do & Check 施策評価

1 - 2 取組の結果

実 績 と 成 果 等		(関連する計画等)		
		総合戦略	強靱化	ビジョン
食品製造業を支える人材の育成を図るため、非正規雇用者や求職者を対象とした職業訓練(8回)や工場見学(6回)、在職者向けの生産管理等の研修(14回)を実施するとともに、食品産業の現場を紹介する冊子を作成し情報発信を行った。		A3217,A3961	B4221	C00303
地域における食品加工技術の高度化に向けた研究開発・技術支援を促進し、地域の食品工業の振興を図るため、地域食品加工技術センター(十勝、オホーツク)に対して、補助等を実施した。		A3211,A3214,A3215,A3961	B4221	C01202
フード特区の優遇措置を活用し、農水産品や加工食品の先端施設の整備等を実施した。税制支援13件、金融支援26件、財政支援29件(平成27年度末現在)		A3216	B4221	C00104
北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)の活用促進に向け、展示会出展、セミナー開催等を実施した。 啓発活動:道内8回・道外5回の展示会出展・参加(平成27年度)、制度周知のためのセミナー:道内11回、道外1回(平成27年度)、認定商品:34社67品目(全6回の認定総数)、平成27年度バイオ産業売上高:631億円(前年比6.1%増)		A3214,A3841	B4221	C00308,C02204,C05907
北海道内でワイン造りに携わる者に対し、栽培・醸造技術やマーケティングノウハウのレベルアップにつながる「北海道ワインアカデミー」を開催した。		A3214	B4221	C00503,C01202,C02204,C03102,C05804
北海道内でワイン造りに携わる者に対して、道産ワインPRイベントや道産ワインセミナーを通じて、関係事業者や消費者のニーズを的確に捉えた効果的なマーケティング活動を習得する研修を実施した。		A3214	B4221	C01202,C02204,C03102,C05804
道内食品製造業の販路拡大及び高付加価値を図るため、地域の商品を発掘し、首都圏等のアッパー層に向けた商品として磨き上げを行う個別相談会・商談会を道内6か所で開催したほか、民間企業が首都圏及び関西圏において開催する商談会と連携して、首都圏等向けの磨き上げを行う個別相談会を開催するとともに、北のハイグレード食品を選定した。		A3211,A3221,A3961	B4221	C00907,C00908,C01202
北海道農商工連携ファンド等の活用を促進し、農林漁業者と中小企業者等の連携体が行う北海道の農林水産資源を活用した「食分野」等における新商品・新サービスの取組を支援した(採択件数:18件)。		A3214,A3411	B4221	C02202
地域の食のキーパーソンとして選考された23名の受講生を対象に「食クラスター「フード塾」」を開催し、高度なマーケティング力を有する人材を育成することにより、地域における魅力ある商品づくりの実践が進むとともに新たな商品開発やコラボ商品の開発が図られた。		A3211	B4221	
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況	「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の充実・発展に向けた支援の拡充や、食クラスター活動の展開に対する支援の強化、道産食品の輸出拡大に向けた環境整備の推進などについて、必要な要望を国に対して実施した。(平成27年7月21日、22日)	施策に関する道民ニーズ		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
-	保健福祉部や農政部、水産林務部と連携して、食品衛生対策や農産物、水産物などの競争力強化を推進	N0410	保健福祉部健康安全局食品衛生課	保健福祉部と連携して、道内の食品関係事業者を対象に、HACCPの専門知識に関する講習会の実施や食中毒情報の共有などを図った。
		N0704	水産林務部水産局水産経営課	
		N0502 N0503	経済部食関連産業室	
		N0601	農政部食品政策課、農産振興課、畜産振興課、農政課	
-	「北海道バイオリディング・プロジェクト」の推進に向け、「ヘルスイノベーション拠点」の形成や新産業創出を先導する「北海道バイオリディング・プロジェクト」を推進する。	N0513	経済部科学技術振興室	国(文部科学省)の地域イノベーション戦略支援プログラム「さっぽろヘルスイノベーションSmart-H」において、食・健康・医療の融合研究拠点の形成を目指した産学官による研究開発を支援し、道産機能性食品の開発促進、実用化、高付加価値化、販路拡大を進めている。
-	エゾシカ肉の販路拡大のため、道内外で行われる商品展示会等を利用し、エゾシカ肉製品のPRを行う。	N0302	環境生活部 生物多様性保全課、エゾシカ対策課	ロイトン札幌で開催した北海道産品取引商談会において、来場者にエゾシカ対策課が作成したパンフレットを配布したほか、食関連産業室が赤レンガ庁舎2階に設置している道産品展示コーナーにおいて、エゾシカ肉製品コーナーを展開している。 道内飲食店バイヤーを対象とした、サッポロビールと共催し開催する「繁盛店の扉フェア」において、エゾシカ食肉事業協同組合が出展し、エゾシカ肉の販路拡大を図る。
	保健福祉部がHACCP導入促進を図るため、当部の「北海道の食品製造業を支える人材育成事業」と連携し、人材の育成を図る。	N0410	保健福祉部健康安全局食品衛生課	保健福祉部と連携して、道内の食品関係事業者を対象に、HACCPの専門知識に関する講習会の実施や食中毒情報の共有などを図った。
-	・「食と観光」の促進のための連携会議を通じて、食と観光が連携した施策を効果的に推進する。 ・北海道の物産と観光展やどさんこプラザを通じ、食の販路拡大や観光客誘致に向けた施策が互いに相乗効果を発揮するように連携を図る。	N0504 N0505	経済部観光局	経済部観光局と連携し、全国28都市34会場で開催する北海道の物産と観光展において、各会場に観光コーナーの設置やオリジナルイベントの実施を行うほか、うち6会場を観光重点会場として来場者に北海道観光PRを行う。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	—	評価年度	-	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37					
製造業の付加価値生産性(万円)(暦年)		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37	達成度合	—	評価年度	-	最新の実績はH26年の統計数値・H26年の数値が基準値であるため、達成度合の評価は不可
		基準値	870	目標値	1034	最終目標値	1,280	年度	H27	H28	進捗率	
(指標の説明) 製造業の従事者1人当たりの付加価値額(生産額から原材料使用料等や減価償却費などを控除した額)	北海道総合計画	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	-	1034.0	1280.0	
				増加		$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		実績値	-	-	870.0	
								達成率	-	-	68.0%	

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	—	評価年度	-	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37					
食品工業の付加価値額(億円)(暦年)		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37	達成度合	—	評価年度	-	最新の実績はH26年度の統計の数値・H26年の数値が基準値であるため、達成度合の評価は不可
		基準値	5,748	目標値	5,864	最終目標値	6,500	年度	H27	H28	進捗率	
(指標の説明) 北海道における食品工業の付加価値額(工業統計から算出)	北海道総合計画	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	-	5864.0	6500.0	
				増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		実績値	-	-	-	
								達成率	-	-	-	

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	-	年度	H28	最終年度	-					
農商工連携ファンドの助成金を受けてから3年以内に事業化した件数		基準年度	-	年度	H28	最終年度	-	達成度合	A	評価年度	H27	農商工連携ファンドを活用した企業等による助成対象事業の事業化が着実に進んでいる。
		基準値	-	目標値	4	最終目標値	4	年度	H27	H28	進捗率	
(指標の説明) ファンドの助成を受けた企業等のうち、3年以内に助成対象事業の事業化が図られた件数	北海道創生総合戦略	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	4	-	4.0	
				維持		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		実績値	4	-	4.0	
								達成率	100.0%	-	100.0%	

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H30					
ヘルシーDo累計認定件数(品目)		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H30	達成度合	A	評価年度	H27	目標件数を着実に達成しているところであり、引き続き、認定商品の増加に向けて取り組みを進めていく。
		基準値	43	目標値	95	最終目標値	195	年度	H27	H28	進捗率	
(指標の説明) 北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)の認定を受けた商品数	北海道創生総合戦略	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	66	-	195.0	
				増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		実績値	67	-	67.0	
								達成率	101.5%	-	34.4%	

本施策に成果指標を設定できない理由	判定	A	B	C	D	-	結果
	(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
	主要指標					2	
	関連指標	2					

平成28年度 基本評価調書

施策名	食関連産業の振興	施策コード	05	01
-----	----------	-------	----	----

Plan 施策推進計画(事務事業) (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式2)

Do and Check 事務事業評価

4 事務事業の設定

4-2 事務事業の評価

H28 整理番号	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	業務目標の設定(P)										事務事業評価(C)							
					平成28年度 執行体制(人工)					総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	重点点検事項							
					事業費 (千円)	本庁	出先 機関	人工計	人件費						フル コスト	H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番号)	終 期	推 進 事 項	必要 な 見 直 し	予算
05030199	主	その他内部管理 事務	室内の内部管理・監督に関する 事務全般及び食産業振興監事務 補助、予算決算、文書管理、議 会対応、職員の仕事・サービス・給 与・福利厚生、物品管理、広報 広聴、陳情要望、政策評価な ど、室内の内部管理に関する事 務全般	食関連産 業室	0	3.4	0.0	3.4	28,033	28,033									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05030299	主	食品産業の振興 に係る企画調整 に関する事務	食品関係各部課のほか国や関係 機関等からの調査、照会、要望 対応	食関連産 業室	0	1.0	0.0	1.0	8,245	8,245									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05030399	主	食品業界に関す る事務	食品業界団体等に関する情報収 集、提供等	食関連産 業室	0	0.2	0.0	0.2	1,649	1,649									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05030499	主	北海道加工食品 フェアに関する 事務(総務管理 諸費)	加工食品コンクールに係る後 援、表彰及び審査員の派遣 諸費	食関連産 業室	0	0.1	0.0	0.1	825	825									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05030599	主	食品加工添加物 等の指導に関す る事務	塩かすのこの加工に使用する食 品添加物の使用規制に関する指 導監督等	食関連産 業室	0	0.1	0.0	0.1	825	825									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05030699	主	食品の法令等に 関する事務	食品リサイクル法の周知及びそ の他関係法令の関係業界団体等 に対する情報提供等	食関連産 業室	0	0.1	0.0	0.1	825	825									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05030799	主	食品業界の動向 把握、分析等に 関する事務	食品工業の現状及び食品関連団 体名簿の作成、業種別業況動向 調査の実施等	食関連産 業室	0	0.1	0.0	0.1	825	825									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05030800	主	地域創生人材育 成事業(北海道 の食品製造業を 支える人材育成 事業)	食品製造業に従事する非正規雇 用者や正規雇用を目指す退職者 を対象とした職業訓練の実施や 在職者を対象とした生産管理等 の研修をすることにより、人手 不足が課題となっている食品産 業の人材を育成し、安定した雇 用機会の創出を図る。	食関連産 業室	0	0.3	0.0	0.3	2,474	2,474									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05030900	主	戦略産業雇用創 造プロジェクト 事業費(食品製 造業のマーケ ティング力強化 事業)	地域の商品を開発し、首都圏等 のアップ層をターゲットに磨 き上げを行う商談会を開催す るほか、新たな地域ブランドを 創設するなど食品製造業の販路 拡大及び高付加価値化に取り組 む。また、全国のスーパーが求 める定番商品を提案できるよう 相談会の開催や首都圏の展示商 談会への出展等の支援を行う。	食関連産 業室	0	1.3	0.0	1.3	10,719	10,719									-	継続(現状 維持)	現状維持	
05031200	主	北海道食産業総 合振興機構負担 金	北海道フード・コンプレックス 国際戦略総合特区に係るマネジ メント組織の運営に要する費用 を負担する。	食関連産 業室	17,000	0.1	0.0	0.1	825	17,825									継続(縮 小)	継続(現状 維持)	縮小	
05031300	主	地域バイオ育成 講座負担金 (総務管理諸 費)	地域におけるバイオ関連製品の 販路拡大支援等を行う。	食関連産 業室	136	0.1	0.0	0.1	825	961									継続(縮 小)	継続(現状 維持)	縮小	

H28 整理番号	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	業務目標の設定(P)										事務事業評価(C)								
					平成28年度					総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価								
					執行体制(人工)				フル コスト						重点点検事項								
					事業費 (千円)	本庁	出先 機関	人工計							人件費	H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番号)	終 期	推 進 事 項	必要 な 見 直 し	予算	サー ビ ス
05031499	主	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区で提案している規制・制度の特例措置に係る国との協議、総合特区制度運用のための各種調整等を実施する。	食関連産業室	0	1.2	0.0	1.2	9,894	9,894									-	継続(現状維持)	現状維持			
05031000	主	戦略産業雇用創造プロジェクト事業費(機能性食品・素材バリューチェーン強化パッケージ事業)	食関連産業室	0	0.2	0.0	0.2	1,649	1,649									-	継続(現状維持)	現状維持			
05031100	主	食品産業振興対策費(地域食品加工技術センター運営事業費)(指定管理者、委託)	食関連産業室	60,011	0.3	0.0	0.3	2,474	62,485										施設の望ましい運営やあり方の方向性について、次期指定管理期間中に結論を得ること。	施設の望ましい運営やあり方を検討するために、施設を定量的データにより評価する手法や施設の数値目標を検討中であり、28年度内をめぐり結論を得る予定。	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
05031500	主	食品産業振興対策費(地域食品加工技術センター運営事業費)(補助金)	食関連産業室	54,274	0.3	0.0	0.3	2,474	56,748										継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
05031600	主	北海道食品機能性表示制度運営費	食関連産業室	523	1.4	0.0	1.4	11,543	12,066										継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
05032199	主	食クラスター活動関連事務	食関連産業室	0	0.4	0.0	0.4	3,298	3,298										-	継続(現状維持)	現状維持		
05032299	主	食クラスター展開事務	食関連産業室	0	2.0	0.0	2.0	16,490	16,490										-	継続(現状維持)	現状維持		
05032399	主	農商工連携の取組の促進	食関連産業室	0	0.7	0.0	0.7	5,772	5,772										-	継続(現状維持)	現状維持		

5 一次評価結果

評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	< 製造業の付加価値生産性(算定不可) > ・最新の実績はH26年の統計数値 ・H26年の数値が基準値であるため、達成度合の評価は不可 < 食品工業の付加価値額(億円)(暦年)(算定不可) > ・最新の実績はH26年の統計数値 ・H26年の数値が基準値であるため、達成度合の評価は不可	< 施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか > ・産学官金による食クラスター活動、人材の育成、付加価値の高い商品の開発や販路拡大の支援などに関して、効果的な取組を推進していることが認められる。 < 施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか > ・「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の充実・発展に向けた支援の拡充や、食クラスター活動の展開に対する支援の強化、道産食品の輸出拡大に向けた環境整備の推進などについて、必要な要望を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。 < 施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか > ・保健福祉部と連携して、道内の食品関係事業者を対象に、HACCPの専門知識に関する講習会の実施や食中毒情報の共有などを図っており、成果が確認できる。 ・ロイトン札幌で開催した北海道産品取引商談会において、来場者にエゾシカ対策課が作成したパンフレットを配布したほか、食関連産業室が赤レンガ庁舎2階に設置している道産品展示コーナーにおいて、エゾシカ肉製品コーナーを展開している。 ・道内飲食店バイヤーを対象とした、サッポロビールと共催し開催する「繁盛店の扉フェア」において、エゾシカ食肉事業協同組合が出展し、エゾシカ肉の販路拡大を図る。 ・経済部観光局と連携し、全国28都市34会場で開催する北海道の物産と観光展において、各会場に観光コーナーの設置やオリジナルイベントの実施を行うほ	+ 評価
関連指標	< ヘルシーDo累計認定件数(品目)(年度)[A] > 展示会への出展やセミナーの開催、また企業等との800件を超える面談を行ったことにより、制度活用ニーズの掘り起こしを行ったことが、指標の評価が好調であった理由であると考えられる。 < 農商工連携ファンドの助成金を受けてから3年以内に事業化した件数[A] > ・農商工連携ファンドを活用した企業等による助成対象事業の事業化が着実に進んでいる。		

総合評価	概ね順調に展開	評価の概要	指標の達成度合が順当であるため、評価は「概ね順調に展開」とする。
------	---------	-------	----------------------------------

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)		(関連する計画等)		
方針	課題と方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	産学官金による食クラスター活動、人材の育成、付加価値の高い商品の開発や販路拡大の支援などの各取組は着実に進捗しており、今後も各取組を実行することにより食関連産業の集積を図り、総合産業群を形成する。	A3211,A3214,A3215,A3216,A3217,A3221,A3411,A3841,A3961	B4221	C00104,C00303,C00308,C00503,C00907,C00908,C01202,C02202,C02204,C02702,C03102,C05804,C5907,C08905
	フード特区については、企業と一次産業の連携の促進などによる食産業の競争力強化や、研究開発拠点機能を生かした産業集積の加速化など、フード特区の成果を更に発展させる今後の展開について、関係機関などと具体的な検討を進める。	A3216	B4221	C00104
	北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)の活用については、認定商品数の拡大に向けた取組や道内外へのさらなる制度の周知を図り、道内食品産業の付加価値向上を目指す。	A3214	B4221	C00308,C02204,C05907
	農商工連携については、引き続き、農商工連携ファンドをはじめとした支援制度の積極的な活用促進に取り組むとともに食クラスターの地域推進体制において、各振興局が中心となり、関係機関が一体となって案件の掘り起こしや事業化への支援に取り組んでいく。	A3214	B4221	

施策名	食関連産業の振興	施策コード	05	01
-----	----------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	食関連産業の振興	施策コード	05 - 01
-----	----------	-------	---------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05030199	その他内部管理事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05030299	食品産業の振興に係る企画調整に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05030399	食品業界に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05030499	北海道加工食品フェアに関する事務(総務管理諸費)					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05030599	食品加工添加物等の指導に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05030699	食品の法令等に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05030799	食品業界の動向把握、分析等に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05030800	地域創生人材育成事業(北海道の食品製造業を支える人材育成事業)					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05030900	戦略産業雇用創造プロジェクト事業費(食品製造業のマーケティング力強化事業)					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05031200	北海道食産業総合振興機構負担金					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
05031300	地域バイオ育成講座負担金(総務管理諸費)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
05031499	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区に関する業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05031000	戦略産業雇用創造プロジェクト事業費(機能性食品・素材バリューチェーン強化パッケージ事業)					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05031100	食品産業振興対策費(地域食品加工技術センター運営事業費)(指定管理者、委託)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持	施設の望ましい運営やあり方の方向性について、平成28年度中に結論を得ること。	現状維持	施設の利用状況を踏まえ、庁内関係部署や地元と協議し、現行の体制を維持することとした。
05031500	食品産業振興対策費(地域食品加工技術センター運営事業費)(補助金)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05031600	北海道食品機能性表示制度運営費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05032199	食クラスター活動関連事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05032299	食クラスター展開事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05032399	農商工連携の取組の促進					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05032400	戦略産業雇用創造プロジェクト事業費(食品製造業の人材育成事業)					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05032699	エゾシカ肉の普及促進に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

施策名	食関連産業の振興	施策コード	05	01
-----	----------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p><新たな取組等> 食クラスター活動を本格展開させるため、道内の関係機関で構成される「食クラスター連携協議体」の運営を通じて、道産食品の販路拡大や商品開発に向けた支援を行う。 地域の商品を発掘し、首都圏等のアッパー層をターゲットに磨き上げを行う、商談会等を開催するほか、新たな地域ブランドを創設するなど、食品製造業の販路拡大及び高付加価値化に取り組む。 地域資源を有効活用した食品開発・販売に取り組むマーケティング人材を道内各地で育成するほか、北海道ブランドとして可能性が高い道産ワインの更なる品質向上を図るため、ワイン造りに携わる者に、醸造やマーケティング手法を習得する機会を設ける。</p>
	<p><新たな取組等> ・フード特区については、これまでの成果を更に発展させるため、平成29年度以降も継続することとし、企業と一次産との連携による食産業の競争力強化や、外国人観光客に向けた地域の特産品の魅力の発信・ブランド化など、新たな切り口を加えながら取組を進める。 ・マネジメント組織である北海道食産業総合振興機構への負担金については、当該機構の管理運営費として、官民の協議に基づき負担金額・率を定めているものであり、平成29年度も同額で予算措置。 [H29予算：17,000千円]</p>
	<p><新たな取組等> ・ヘルシーD₀の認定商品数の拡大については、メディアを活用した制度PRや全国最大規模の健康関連博覧会への出展、北海道どさんこプラザ等における「ヘルシーD₀フェア」の開催等により、消費者や食品メーカー等の認知度向上に向けた取組を進めるとともに、制度の検証・改善のための検討を行う。 ・ヘルシーD₀制度の運営費については、当該制度を運用するための外部有識者への謝金や旅費等といった必要不可欠な経費であり、平成29年度も引き続き予算措置。 [H29予算：425千円]</p>
	<p><新たな取組等> 北海道農工商連携ファンド等を活用し、農林漁業者と中小企業者等の連携体が行う、北海道の農林水産資源を活用した「食分野」における新商品・新サービスの取組を支援する。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	食関連産業の振興	施策コード	05	01
-----	----------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	事業	事業	18 事業	3 事業	事業	事業	事業	21 事業
反映結果	事業	事業	21 事業	事業	事業	事業	事業	21 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
0 事業